

令和元年度第62回福島県中学校体育大会 柔道大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 いわき市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会 福島県柔道連盟
- 2 後援 いわき市
- 3 主管 いわき地区中学校体育連盟
- 4 期日 令和元年7月22日(月)～24日(水)
22日(月) 監督会 14:30～ スポーツパーク南部アリーナ
23日(火) 開始式 9:00～ スポーツパーク南部アリーナ
競技 9:30～ 団体戦
24日(水) 競技 9:15～ 個人戦
閉会式 14:30～ スポーツパーク南部アリーナ
- 5 会場 いわき南の森スポーツパーク南部アリーナ(いわき市錦町細谷102-58)
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し、校長が参加を認めた者とする。
(2) 各地区予選会を通過した一校単位で編成されたチーム、および個人とする。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 外部コーチについては校長が認めた者とし、所定の様式に従い「コーチ確認書」を参加申込と同時に提出する。ただし、予選大会と同一コーチに限る。また、当該校以外の中学校教職員・校長・部活動指導員の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
(3) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員、外部コーチ等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部コーチ等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 8 参加人員 (1) 団体戦 男子は、基本各地区2、開催地区3、次年度開催地区3、推薦2、最大3。推薦は、前年度県総合大会結果(上位地区)とする。
女子は、相双地区1、その他の地区3とする。
(2) 団体戦のチーム人員、編成について
① 男子は監督1、コーチ1、選手5、補欠3、計10名以内とする。女子は監督1、コーチ1、選手3、補欠3、計8名以内とする。
② チームの編成は、体重の重い者を大将とし、以下体重順に編成する。
③ 試合ごとの選手の位置を変えることはできない。また、選手の補充は認めない。
(3) 個人戦は、下記の男子8階級、女子8階級で行う。男女とも各階級に各地区から4名出場とする。
- | 男子 | 女子 |
|-----------------------|-----------------------|
| 50kg級(50kg以下) | 40kg級(40kg以下) |
| 55kg級(50kgを超えて55kg以下) | 44kg級(40kgを超えて44kg以下) |
| 60kg級(55kgを超えて60kg以下) | 48kg級(44kgを超えて48kg以下) |
| 66kg級(60kgを超えて66kg以下) | 42kg級(48kgを超えて52kg以下) |
| 73kg級(66kgを超えて73kg以下) | 57kg級(52kgを超えて57kg以下) |
| 81kg級(73kgを超えて81kg以下) | 63kg級(57kgを超えて63kg以下) |
| 90kg級(81kgを超えて90kg以下) | 70kg級(63kgを超えて70kg以下) |
| 90kg超級(90kgを超える者) | 70kg超級(70kgを超える者) |
- (4) 個人で欠損が生じた場合は、専門委員長会議で補充を決定する。
- 9 競技規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020)及び国内における「少年大会特別規定」並びに福島県中学校柔道大会申し合わせ事項による。
(2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。

- ① 団体試合
個々の試合においては、「技あり」以上又は「僅差（「指導」の差2以上）」とする。優劣の成り立ちは以下の通りとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

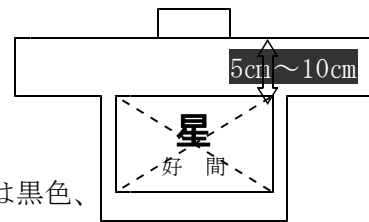
「一本勝ち」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「僅差」

チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。
（ただし、予選リーグにおいては代表戦を行わず、「引き分け」とする。）
代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上又は「僅差（「指導」の差2以上）」とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を時間無制限で行う。
延長戦（ゴールデンスコア）の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。
延長戦において指導の累積によって両者が同時に「反則負け」になった場合は、抽選により必ず勝敗を決する。

- ② 個人試合
ア 「技あり」又は「僅差（指導差2）以上とする。技による評価が同等の場合もしくは指導差2以上がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦は、「技あり」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。
イ 指導の累積によって両者が同時に「反則負け」になった場合は、得点板をリセットして、延長戦で勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積によって両者が同時に「反則負け」になった場合は、抽選により必ず勝敗を決する。

- (3) 団体試合において「両者反則負け」の場合は、両者負けとして扱う。
(4) 試合時間は、団体試合・個人試合とも3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
(5) 柔道衣は白色とし、（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。女子も黒帯とする。
(6) （公財）講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

- (7) ゼッケンの着用（例を参照）
柔道着にゼッケン（学校名・名字入り）を縫いつけて出場すること。



- ① 布地は白色
② 名字（姓）は上側2／3
③ 学校名は下側1／3
④ 書体は太字ゴシック体・明朝体、男は黒色、女は赤色
⑤ サイズは、（横30～35cm・縦25～30cm）
⑥ 縫いつける場所は後襟から5～10cm下部に縫い付ける。対角線にも強い糸で縫いつける。

- (8) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規定（H25.4.1より施行）に準ずる。

- (9) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」、「脳震盪対応について」を適用する。安全対策（脳震盪対応について）は以下のとおりとする。
① 大会前1ヶ月内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医の精密検査を受けること。）

10 競技方法

- (1) 団体戦はリーグ・トーナメント戦とする。
① 2つのチーム間における対抗方式は、男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り方式で行う。
② リーグ戦における順位は、次の順によって決定する。
ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント出場チームを決定する。（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。）
③ トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
ア チーム間における勝ち数による。

- イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
(2) 個人戦は、トーナメント戦で行う。

- 11 表 彰 (1) 男女とも、団体優勝チームには優勝旗（持ち回り）を授与する。
(2) 団体戦・個人戦とも、1位～3位（4チームまたは4名）に、賞状とメダルを授与する。（団体戦は登録選手全員に授与する。）

1名 1, 500円とする。
(団体戦・個人戦ともに参加する選手については重複して納入しない。)

- 12 参 加 料
13 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。また、申込書データを下記申込送付先にメールで送付すること。
【申込締切】令和元年6月20日（木）必着

いわき市立小名浜第一中学校 担当 高木 清美 宛
E-mail : takaki.kiyomi@fcs.ed.jp

- (2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。
(3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。

- 14 宿 泊 (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は認めない。）また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
(2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
(3) 宿泊料金は、令和元年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。

- 15 そ の 他 (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。
(2) プログラムは有料とし、1冊800円で販売する。
(3) 参加記念章は、1個350円で販売する。
(4) 東北大会への出場については、男子団体戦は第3位までの上位4チーム、男子個人戦は第3位までの上位4名、女子は、団体戦・個人戦ともに優勝・準優勝の上位2チーム（上位2名）が出場権を得る。
(5) 全国大会への出場については、男女とも、団体戦は優勝校1チーム、個人戦は各階級とも第1位の1名が出場権を得る。

- (6) 大会日程について
① 1日目 10:00 開場
11:00～15:00 公式練習
12:00～14:00 団体計量・服装検査
14:30～ 監督会議
② 2日目 8:15～ 8:30 男女団体服装検査(再検査の者のみ)
9:00～ 開始式
9:30～ 競技
13:00～14:00 男女個人戦非公式計量
団体閉会式終了後1時間（1回のみ）男女個人戦計量・服装検査
③ 3日目 8:00～ 8:30 男女個人戦(再計量・再検査のみ)
9:00～ 開始式
9:15～ 男女個人戦

- (7) 監督・コーチは審判に準ずる服装とする。（ネクタイ着用）
(8) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
(9) 練習について
割り振りについて
1日目 公式練習 団体・個人オープンとする。
2日目 朝（団体戦試合前）：団体戦登録選手のみとする。
午後（団体戦終了後）：表彰式後、個人選手の練習を可とする。
3日目 朝：個人戦出場選手のみとする。

- 16 連 絡 先 県 専 門 部 委 員 長 星 有 為（好間中：0246-36-2204）
開催地区専門部委員長 星 有 為（好間中：0246-36-2204）